平成２５年１２月２６日

がんばろう！東北

国営みちのく杜の湖畔公園
Michinoku Lakewood N.G.P
NEWS RELEASE

氷の花を咲かせる植物「シモバシラ」が見られます

シソ科の植物が初冬に氷を身に付けて大変身

みちのく公園では、ふるさと村の**『シモバシラ』**が、12月26日（木）の朝、氷の花を咲かせましたのでお知らせいたします。

『シモバシラ』は、多年草のシソ科植物です。冬に茎が枯れ、地中から吸い上げられた水が、夜間の寒さで凍り、枯れた茎を割って吹き出し、氷となって現れます。風が弱く、雪や雨が降っていないなど、条件が揃わないと見ることができません。

〔場所〕 ふるさと村　南会津の家　付近
〔数量〕 50株（約5 ㎡）
〔見られる時期〕 12月下旬～1月初旬頃まで （天候によって時期に変動があります）
早朝から午前中の早い時間帯



ニュースリリース配信先：宮城県政記者クラブ・仙台市政記者クラブ・東北電力記者クラブ・仙南記者クラブ
山形県政記者クラブ・山形市政記者クラブ・福島県政記者クラブ・福島市政記者クラブ

お問い合わせ先

国営みちのく杜の湖畔公園　みちのく公園管理センター　　担当／内海・藤本・佐藤
〒989-1505　宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9
TEL：0224-84-5991　FAX：0224-84-5992

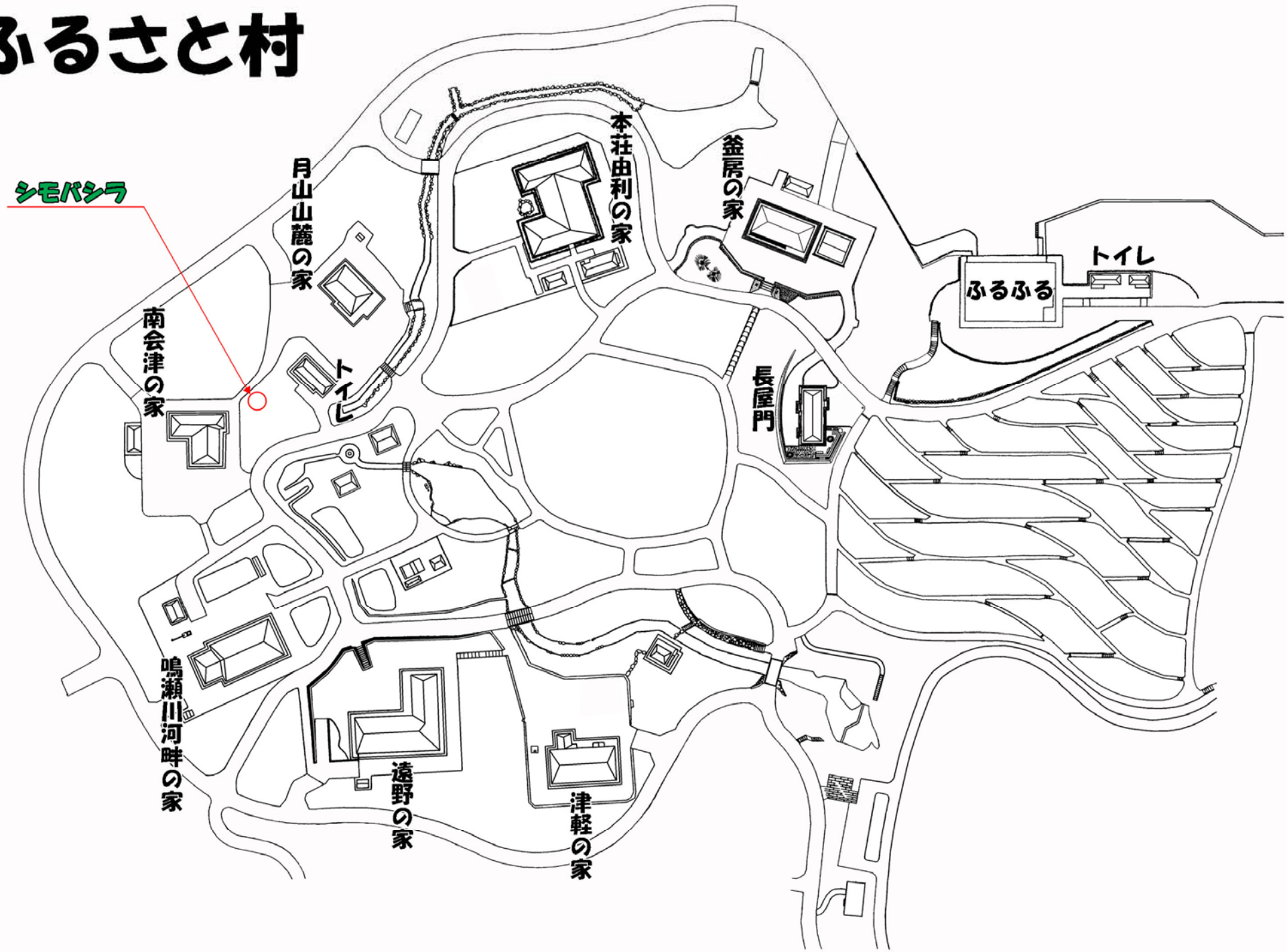
『シモバシラ』は、林の中に生える多年草のシソ科植物です。日本固有種で、関東地方以南の本州から九州にかけて分布します。秋に、白か薄紅色の小さなノコギリの歯のような花を多数つけます。冬には茎が枯れますが、地中から吸い上げられた水が、夜間の寒さで凍り、枯れた茎を割って吹き出し、氷となって現れます。この珍しい氷の結晶の花を霜柱に見立てたものです。シモバシラが見られるのは、初めての寒波で急激に冷え込んだ日、気温が氷点下位まで下がった早朝、風が弱く、雨や雪が降っていないときの条件が揃った場合です。真冬になると、土壌が凍り、根が水分を吸い上げることができなくなるので、見ることができません。日が当たると溶けてしまいますので、暖かくなるお昼前までしか見ることができない現象です。







ふるさと村


シモバシラ
月山山麓の家
本荘由利の家
釜房の家
トイレ
ふるふる
南会津の家
トイレ
長屋門
鳴瀬川河畔の家
遠野の家
津軽の家